

自然エネルギー ×
日本の農業
「HALO JAPAN FOOD」
始まる。

PRESS RELEASE



「HALO JAPAN FOOD」の 第一弾商品は 『HALO KUMAMOTO BEER』



自然電力グループの農業法人、 自然電力ファームが2018年秋に食品ブランドを始動

自然電力ファーム株式会社（本社：鹿児島県西之表市、代表取締役：磯野謙）は2018年秋に食品ブランド「HALO JAPAN FOOD（ハロージャパンフード）」を始動します。その第一弾商品は、『HALO KUMAMOTO BEER（ハロークマモトビール）』。フレーバーには熊本県合志市産のリコリス（甘草）を使用しています。

「HALO JAPAN FOOD」を企画・運営する自然電力ファーム株式会社は、自然電力グループの農業法人。自然電力グループは2011年の設立以降、日本各地に自然エネルギーの発電所を建設し、太陽光、風力を活用した電力を作り、販売してきました。自然電力グループが、発電所を建設するために必要な広大な土地。その土地はその地域の農家の皆さんから借りているものも多く、発電所の周辺には田畑などの農地が広がっています。

「HALO」は光の輪の意味。自然電力グループの発電所がある日本各地の農家の皆さんとともに、その土地ならではの農産物を活かした食品を生み出し、その地域をより明るく、日本の農業をより元気にするために立ち上げたのが「HALO JAPAN FOOD」です。

（自然電力グループの自社保有発電所数は22箇所 [2018年3月現在] ※グループ（自社）保有とは、自然電力もしくはその関係会社が所有、または、特別目的会社等を通じて出資している案件を指します）

「HALO JAPAN FOOD」の第一弾商品となる『HALO KUMAMOTO BEER』は、フレーバーに熊本県合志市産のリコリス（甘草）を使用。リコリスは古代から世界各地で薬用として、また甘味料として広く用いられてきた歴史のあるハーブです。熊本県合志市は近年、このリコリスに着目し、栽培に取り組んでいることでも知られています。



名称：「HALO KUMAMOTO BEER」(ハロークマモトビール)

品目：[生ビール] ペールエール (ベルジャンスタイルのリコリスビール)

原材料：大麦麦芽、ホップ、ビール酵母、合志産リコリス (甘草)

賞味期限・品質保持期限：要冷蔵で4ヶ月

容量・容器：330ml・瓶

アルコール分：6%

販売予定地域：主に九州、関東地域

発売予定日：2018年秋

事業者：自然電力ファーム株式会社

(〒891-3432 鹿児島県西之表市安城3503)

製造者：株式会社ダイヤモンドブルーイング

(〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南3-1-102)

「HALO JAPAN FOOD」について

「HALO JAPAN FOOD」は自然電力ファーム株式会社が立ち上げた食品ブランド。自然電力グループの発電所がある日本各地の地域の農業と向き合い、その土地ならではの農産物を活かした食品を生み出し、その地域をより明るく、日本の農業をより元気にしていきます。

(自然電力グループの自社保有発電所については以下からご覧いただけます：
<http://www.shizenenergy.net/works/powerplant.html>)

HALO JAPAN FOOD

自然電力ファームの成り立ち

自然電力ファーム株式会社は「エネルギーから世界を変える。」を企業理念に掲げる、自然電力株式会社(本社：福岡県福岡市/代表取締役：磯野謙)のグループ会社として、2013年5月に設立された農業法人。2012年、熊本県合志市・熊本製粉株式会社・自然電力株式会社と共同で「合志農業活力プロジェクト」を構成し、農林水産省が企画する「地域還元型再生可能エネルギーモデル早期確立事業」として採択された。発電所の売電収益を地域農業へ還元するモデルを企画・運営している。2018年秋より食品ブランド「HALO JAPAN FOOD」をスタート。

お問い合わせ

自然電力ファーム株式会社 担当：玉木綾香

TEL：090-1511-0421 メール：ayaka.tamaki@shizenenergy.net